

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第5部門第2区分
 【発行日】令和4年10月14日(2022.10.14)

【国際公開番号】WO2020/084434
 【公表番号】特表2022-505433(P2022-505433A)
 【公表日】令和4年1月14日(2022.1.14)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-006
 【出願番号】特願2021-521467(P2021-521467)
 【国際特許分類】

F 1 6 B 12/20(2006.01)
F 1 6 B 12/32(2006.01)
A 4 7 B 96/06(2006.01)

【F I】

F 1 6 B 12/20 B
 F 1 6 B 12/32 B
 A 4 7 B 96/06 B
 A 4 7 B 96/06 H
 A 4 7 B 96/06 E

10

20

【手続補正書】

【提出日】令和4年10月5日(2022.10.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

成形された自由端30bを有する軸30のヘッドとして形成されたクラウンギア39は、上記のピニオン28と係合する。

30

軸30の成形端部30bは、接合箇所Gとして機能するよう係合するピン17の孔31に挿入されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

具体的には、2つの放射状のフランジ状の延長部73および74の少なくとも一方は、基部12または最上部13の穴22に挿入されたときに接合箇所の操作および係止組27の固定ネジ76を受け入れるための貫通状のシート75を備える。

40

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

図1に示されるように、前方接合箇所Gおよび後方接合箇所G'が描画され、接合箇所G、G'の操作を容易にする更なる任意の仕組みを備えた例が挙げられている。

つまり、まず、回転を伝達するための伝達および操作ロッド77が後方接合箇所G'に

50

設けられている。当該伝達および操作ロッド 77 は、その一方の端部が、貫通孔 69 を通り、後方接合箇所 G' のピニオン 28 の操作シート 29 に係合することに注目されたい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

さらに短い伝達および操作ロッド 77 が設けられていてもよい。当該伝達および操作ロッド 77 は、前方接合箇所 G の貫通孔 69 に挿入され、前方接合箇所 G 自体のピニオン 28 の操作シート 29 に係合している。さらに、C 字形に形成され、下方に開いて上記の伝達および操作ロッド 77, 77' の両方を回転可能に収容してこれらの操作を容易にする複数の弾性支持体 79 が設けられた、ブラケット 78 が設けられていてもよい。ブラケット 78 は、基部または底部 12、あるいは最上部 13 にネジ 80 で固定されていてもよい。

10

20

30

40

50